

留学だより

みなさん、こんにちは。今回の留学だよりでは、クリスマスとお正月について紹介したいと思います。



日本では 24 日のクリスマスイブにお祝いをするのが普通ですが、オーストラリアでは 25 日のクリスマスにお祝いをします。朝 5 時 45 分にホストブラザーがみんなを起こして、その後それぞれプレゼントを開けました。ホストブラザーはサンタクロースから 1 つ、ホストペアレンツからは事前に頼んだ欲しいもの、必要なもの、服、本、お菓子、またサプライズでいくつかのプレゼントを

もらっていました。私も今までで一番数多いクリスマスプレゼントをもらいました。午前中はもらったプレゼントで遊んだり、話したりとゆっくり時間を過ごしました。午後は、ホストファザーの家族と一緒に海に行きました。ホストファザーは 5 人兄弟で、クリスマスには 3 人の兄弟とその家族が来ました。

海では泳いだり、ジェットスキーに乗ったり、クリケットをしたりしました。お昼は食わず、午後 4 時ごろからみんなで夕飯を食べました。また、いろいろな人に日本ではクリスマスにフライドチキンを食べるのは本当なのか、と聞かれました。日本と季節が真逆なので、クリスマスという実感もなく過ぎてしまいました。



12 月 30 日から 1 月 3 日まで家族でキャンプをしました。最初の 2 日間は音楽フェスティバルに行きました。途中で雨が降ってきたり、気温が 40 度を超えたりしましたが、私が好きな曲を聴くことができるとても楽しかったです。また、初めてワラビーを食べました。火



が通り過ぎていたのと、スパイスが強すぎたので、味はあまりわかりませんでした。いい経験でした。ホストファミリーは寝てしまっていたので、年越しのカウントダウンはホストシスターと 2 人でした。日本では紅白歌合戦を見たり、年越しそばを食べたりしますが、それもなかったので不

思議な感覚でした。オーストラリアではお正月はお祝いしたり、特別な食べ物を食べたりすることはありません。私たちはマライア島という国立公園に行って、半日を過ごしました。マウンテンバイクを借りて、島を探検しました。野生のウォンバットの親子を見ることができました。

また、ラベンダー農園にも行きました。中国の首相が数年前に訪れたらしく、オーストラリア人よりも中国人観光客のほうが多かったです。そこで食べたラベンダーアイスクリームがとてもおいしく、気に入りました。



オーストラリアでの生活も終わりが近づいてきました。そのため、この留学だよりも最後になります。できるだけたくさんの方に挑戦して、後悔ないように過ごしていきたいと思えます。

斎藤